

岩手大学

同窓会連合会報

2025

IWATE UNIVERSITY
FEDERATION OF
ALUMNI ASSOCIATION



NO. **17**
2025.12

岩手大学同窓会連合 会長挨拶



岩手大学卒業生・修了生の皆様におかれましては、同窓会連合の活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。このたび、武田純一前会長の後任として会長を拝命いたしました。同窓会連合の継続的な進展のために努力して参る所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

岩手大学では、近年の急速に変化する社会的需要に応じて、より適切な教育・研究・社会貢献を達成するべく2025年4月に改組いたしました。同窓会連合では、大学の進化に対応し、確かな基盤をもって安定した存在として継続することが重要だと考えています。

今後も同窓会連合は、会員相互の交流と親睦、そして母校の発展に貢献するために活動してまいります。引き続き、同窓生皆様の同窓会連合へのご協力をお願い申し上げます。

会長 藤田 尚毅

岩手大学同窓会連合活動報告

「同窓会トークカフェin仙台～卒業生・修了生と学長との懇談会(第17回)～」開催

2025年7月26日(土)、仙台ガーデンパレス(宮城県仙台市)にて、同窓会連合と大学が共催する恒例イベント「同窓会トークカフェ」を開催しました。このイベントは、大学の最新の取り組みを卒業生・修了生に紹介し、教育・研究・社会貢献に関する意見を伺う場として毎年開催しています。

今回のプログラムでは、大学の取り組み紹介として、大型外部資金による研究プロジェクト、アントレプレナーシップ教育プログラム、学部の新設・改組、そして創立80周年記念事業の進捗状況などを報告しました。

さらに、学生団体による発表では、若い世代に日本酒の魅力



懇親会の様子

を伝える「いわて i-Sake プロジェクト」と、岩手の魚食文化を広める「同じ釜の匂いを食べる2025」が活動内容を紹介。熱意あふれる発表に参加者の関心が集まりました。

卒業生講演では、人文社会科学部卒業生の森谷浩一氏(バイオニア株式会社 前代表取締役 兼 社長執行役員)と、農学部卒業生の橋本和博氏(前宮城県農政部長)にご登壇いただきました。講演後には小川智学長を交えた鼎談も行い、卒業生・修了生の視点と大学の今後について意見を交わしました。

当日は92名の方にご参加いただき、終了後の懇親会も笑顔と会話があふれる楽しいひとときとなりました。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。次回は東京での開催です。再びお会いできることを楽しみにしています。

次回は東京での開催が決定しました!



懇親会では「WE♥GANDAI」フォトフレームで写真を撮って盛り上がりました!



卒業生と学長との鼎談の様子。右から小川学長、橋本氏、森谷氏、ファシリテーターを務めた地域防災研究センターの坂口奈央准教授

次回予告

同窓会トークカフェ in 東京 ～卒業生・修了生と学長との懇談会(第18回)～

日時 2026年7月25日(土)
トークカフェ 14:00～ 懇親会 16:30～

会場 KKR ホテル東京
(東京都千代田区大手町1-4-1)

※詳細は後日、同窓会連合HPや大学HPにてご案内します。同窓会連合や大学に関するお知らせをご希望の方は、右記の二次元コードからフォームにご登録ください。メールにて最新情報をお送りします。



2024年度事業報告

- ◎理事会の開催（計4回）
- ◎運営委員会の開催（計1回）
- ◎「トークカフェin東京～卒業生・修了生と学長との懇談会（第16回）～」の開催（2024年7月28日）
- ◎会報第16号の発行
- ◎岩手大学紹介番組「ガンダイニング」への協賛
- ◎卒業式・修了式への支援（祝い花の贈呈）
- ◎岩手大学イーハトーヴ基金への協力の呼びかけ
- ◎岩手大学創立80周年記念事業への協力（「ホームカミングデイ2024」の共催等）

2025年度事業計画

- ◎理事会の開催
- ◎運営委員会の開催
- ◎「トークカフェin仙台～卒業生・修了生と学長との懇談会（第17回）～」の開催（2025年7月26日）
- ◎会報第17号の発行
- ◎卒業式・修了式への支援（祝い花の贈呈）
- ◎岩手大学イーハトーヴ基金への協力の呼びかけ
- ◎岩手大学創立80周年記念事業への協力（「ホームカミングデイ2025」の共催等）

ホームカミングデイ2025開催

2025年10月18日（土）、岩手大学上田キャンパスで「岩手大学ホームカミングデイ2025」を開催しました。本イベントは、2029年の創立80周年記念事業の一環として企画され、卒業生・修了生やご家族、在学生、地域の皆様など幅広い方々にご参加いただきました。当日は大学祭「不来方祭」と同時開催となり、キャンパス全体が賑わいました。

午前中には、同窓経営者の会による特別企画「岩手大学の魅力をどう伝える？ 発信戦略クロストーク」を実施。岩手大学の魅力を再発見し、どのように発信し共感を広げるかをテーマに、卒業生と大学の連携や広報戦略、創立80周年事業を盛り上げるためのアイデアが共有されました。

続いて、教育学部1号館の北桐ホールで記念式典を開催。創立80周年事業の進捗報告や感謝状等贈呈に加え、農学部・渡



記念式典での感謝状等贈呈の様子

2024年度決算

【収入の部】（単位：円）

項目	予算額	決算額	差額
会費収入	1,200,000	1,200,000	0
前年度の繰越金	882,940	882,940	0
イベント参加費	0	265,000	△ 265,000
その他収入	17	642	△ 625
計	2,082,957	2,348,582	△ 265,625

【支出の部】（単位：円）

項目	予算額	決算額	差額
事業費	1,237,000	1,561,243	△ 324,243
会長活動経費	5,000	0	5,000
事務費	5,500	8,800	△ 3,300
予備費	835,457	0	835,457
計	2,643,532	1,570,043	512,914

[収入 - 支出 = 繰越額] 2,348,582 - 1,570,043 = 778,539

役員名簿

右記QRコードからご覧ください。



邊学准教授による研究紹介「リンゴ『はるか』の育成から普及まで」、教育学部卒業生で合同会社ホームシックデザイン代表の清水真介氏による記念講演「クリエイティブの力でこの地を開墾する～岩手大学生の起業から20年～」が行われました。

また、農業教育資料館を巡るコンシェルジュツアー、同窓会連合女性支部による「Roots—多世代でつながる記憶展」や卒業・入学アルバムコーナーも好評でした。

最後に中央食堂での懇親会では、同窓生や教職員が再会を喜び、世代を超えた絆を深めました。

今回のホームカミングデイは、岩手大学の歩みと未来をつなぐ場として、多くの笑顔と交流に満ちた一日となりました。ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



清水真介氏による記念講演の様子



同窓会連合女性支部の展示会場



アルバムコーナーの様子

株式会社 竹中工務店
東京本店作業所
チーフエンジニア
設備担当

くぼ さわ さとる
久保沢 哲さん

2008年3月 工学部卒業、
2010年3月 工学研究科修了



学びの価値を改めて見つめる

岩手大学で過ごした日々は、学業だけでなく多様な経験に恵まれました。プライベートでは、バーでのアルバイトを6年間続けたことが印象深い思い出です。さまざまな年齢や職業の方と話す機会を通じて、多くを学びました。仙台市出身で初めての一人暮らしだった私にとって、店長にも大変お世話になり、楽しい時間でした。

学業面では、水を送るポンプの設計を行い、図面を手書きで仕上げたことが強く記憶に残っています。空間把握能力や縮尺の正確性が求められる難しい課題で、徹夜することもありました。現在では製図はソフトで自動化されていますが、当時、手作業で取り組んだことで、ものづくりの難しさや本質を学ぶことができたと感じています。

また、企業倫理やコンプライアンスについて学んだことも、現在の仕事で重要性を実感しています。当時は理解が浅かったものの、今では企業活動に欠かせないテーマとなり、学びの価値を改めて見つめ直しています。

力学の知識が生きる現在の仕事

現在、私は東京都内の大規模プロジェクトで設備施工を担当し、約7年後に完成予定の建物の計画を進めています。電気、空調、衛生設備、エレベーターなど建物のインフラに関わる業務に携わりながら、部下の指導や他部署との調整も担っています。

岩手大学では機械工学を専攻しており、建築業界で働くとは思っていませんでしたが、機械力学、流体力学、熱力学などの知識は今の仕事に直結しています。当時、風車の研究をしており、そこで得た省エネやCO₂削減の知見も、建築設備の進化に対応するうえでの財産です。建設設備はLED照明やAI技術の導入など日々進化しており、常にアンテナを張って学び続けることが求められます。

また、社会情勢の影響も大きく、戦争や半導体不足で部

品供給が止まってしまうこともあります。新型コロナのパンデミックでは換気量増加やトイレ設備の交換などの需要が急増し、仕事がむしろ増えました。世界の動きを常に気にする必要がありますし、変化に柔軟に対応する力も重要です。

キャリアの醍醐味と大切にしている価値観

これまでのキャリアのなかで特に印象に残っているのは、20万平米を有する大規模建物の施工管理です。3~4年にわたり毎日現場に通い、何百人もの関係者と協力しました。やり遂げたときの達成感は大きく、自分の成長を実感しました。銀座や上野の商業施設の設計に携わった際には、完成後に家族や友人を案内できることも、この仕事ならではの喜びです。自分関わった建物が長く残り続けることを思うと、特別な誇りを感じます。

仕事で大切にしているのは、さまざまな意見に耳を傾け、より良いものを造ろうとする姿勢です。長期間にわたり多くの関係者と協力するため、信頼関係を築くことが不可欠です。良いことも悪いことも共に経験した仲間とは、かけがえない強い結びつきが生まれ、プロジェクト完了後も交流を続けています。

岩手大学での6年間で得た出会いや経験は、今の私の考え方や行動の礎になっています。職場で同僚と大学時代の話をすると、岩手大学は「あたたかい場所」だったと改めて感じます。アットホームな居心地の良さは大学の強みではないでしょうか。

さまざまな場所でご活躍されている同窓生の皆さん、どうかお体に気を付けて、これからも頑張ってください。私も頑張ります。



※2025年11月7日（金）、株式会社竹中工務店・東京本店（東京都江東区）にて収録

七友会 SHICHIYUKAI

人文社会科学部
同窓会

評議員会開催～50周年に向かって

2025年6月14日(土)に評議員会をエスポワールいわてで開催。基本方針を「多世代参加型のサステナブルな七友会」、5大重点取組を「情報提供の充実」「支部活動の活性化」「多世代参加型の魅力ある活動の検討」「事務局体制・役員体制の検討」「人社50周年、岩手大学80周年記念事業の支援」としました。丸山仁学部長にもご参加いただき、2027年の人社50周年に向かって更なる発展を誓い合いました。



50thを盛り上げよう！

一祐会 ICHIYUKAI

理工学部
同窓会

コロナ禍で延期となった東京総会開催

2025年度の一祐会定期総会は、コロナ禍で延期されていた東京での開催となりました。東京駅から徒歩10分程度のAP東京八重洲を会場に、北は北海道、南は福岡から総勢133名の出席を得ました。最高齢は昭和35(1960)年卒の88歳の方で、一同大変励まされました。会では、長田学部長(電気S62年卒)に、「令和7年度理工学部改組について」と題して、一学科+コースとなった学部の新体制について紹介をいただき、その後、学科毎に懇親を深め盛会のうちに幕を閉じました。



東京での定期総会の様子

北桐会 HOKUTOHKAI

教育学部
同窓会

2025年7月4日(金)、北桐ホールにて「第66回評議員会」を開催いたしました。各支部より選出された評議員および常任理事、総勢24名の皆さまにご出席いただきました。当日は、報告事項、協議事項について審議が行われました。会の終盤には参加の皆さまから、近況や学生時代の思い出を語っていただき、当時は懐かしむとともに、教育学部のこれまでの歩みを振り返る貴重なひとときでした。この会を受け、北桐会では「北桐」65号の発行、卒業記念品の贈呈に向けた取り組みを進めております。



評議員会の様子

北水会 HOKUSUIKAI

農学部・獣医学部
同窓会

植物園と移動診療車の現状を確認 —北水会役員が現地を訪問—

去る5月30日、北水会の通常評議員・理事合同会議に先立ち、役員が創立80周年記念プロジェクトの現地視察を行いました。農学部附属植物園内の歴史を刻んだ樹々や劣化した収蔵庫の状況を確認するとともに、老朽化した移動診療車「ワンにゃん号」と「牛バス号」の前で、診療車の更新と遠隔診療システム導入の必要性について、佐藤洋獣医学部長から説明を受けました。

歴史と伝統を後世に継承する重要性、そして地域の獣医療を支える使命を改めて認識し、北水会は今後も支援の輪の拡大に努めて参ります。



佐藤獣医学部長による概要説明

定年退職教員の紹介

以下の先生方が2026年3月をもって定年退職されます。長年にわたり教育・研究にご尽力いただき、ありがとうございました。

所 属	職 名	氏 名	研究分野・キーワード
人文社会科学部	教 授	大友 展也	ドイツ語学、ドイツ学、ドイツにおける新聞発達史
人文社会科学部	教 授	宮本 ともみ	民法(家族法)
人文社会科学部	教 授	横井 雅明	フランス語学
教育学部	教 授	天木 桂子	被服整理学、洗浄科学、液体のレオロジー
教育学部	教 授	柴垣 登	特別支援教育
教育学部	教 授	溝口 昭彦	現代美術、絵画
農学部	教 授	飯田 俊彰	農業農村工学(農業水利学)
農学部	教 授	小森 貞男	果樹園芸学、果樹育種学
農学部	講 師	安 嬰	昆虫生理学
国際教育センター	教 授	松岡 洋子	日本語教育、多文化コミュニケーション、移民政策

DX 時代を担う人材育成へ

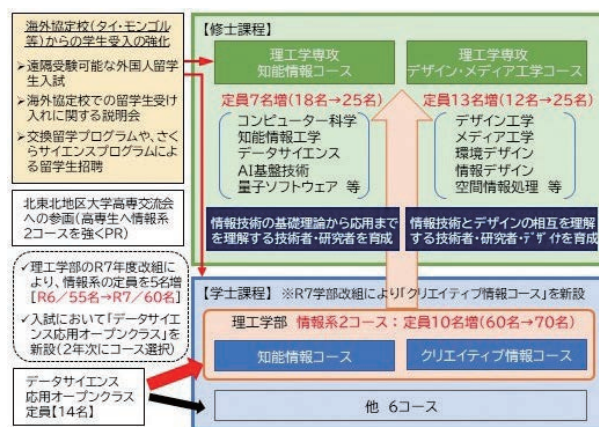
～「大学・高専機能強化支援事業」に選定～

01

岩手大学は、文部科学省の「大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化）」に採択されました。本事業は、デジタルやグリーン分野をけん引する高度専門人材の育成を主な目的とし、大学における改革を支援するものです。

本学では理工学部および大学院理工学専攻の情報系コースを拡充し、大学院では「知能情報コース」7名、「デザイン・メディア工学コース」13名を増員し、AI・データサイエンス等を強化する計画です。学部では「知能情報コース」「クリエイティブ情報コース」計10名増員し、うち5名は女子枠としての新設を目指しています。県内企業の約65%が「デジタル人材不足」と回答する中、岩手大学は企業・自治体との連携、女子学生・留学生の受け入れ、他大学との協働授業を通じ、情報技術の基礎から応用までを理解し、社会課題の解決に貢献できる人材育成に取り組めます。本事業を

通じて、教育環境をさらに充実させ、地域・日本・世界に貢献する高度情報専門人材の育成に挑戦します。



獣医学部開設記念行事を挙行了しました

02

2025年7月9日（水）、獣医学部の新設を記念し、看板除幕式、開設記念式典、開設記念祝賀会を開催しました。

除幕式では、小川智学長と佐藤洋獣医学部長が新しい看板を披露し、学長は「獣医学部の使命を胸に、地域・日本・世界へ貢献する」と述べました。続いて行われた開設記念式典（ホテルメトロポリタン盛岡）では、文部科学省、岩手県、日本獣医師会などから祝辞が寄せられ、佐藤繁名誉教

授による講演では、獣医学教育への期待が語られました。

祝賀会では来賓による挨拶のほか、学生による「盛岡さんさ踊り」が披露され、華やかな雰囲気の中で幕を閉じました。

東北で唯一の国立獣医学部として、教育・研究・地域連携のさらなる充実に向け、全力で取り組んでまいります。



小川学長（左）と佐藤学部長による除幕



佐藤繁名誉教授による特別講演

合唱の楽しさを届ける～岩手大学合唱団の活動～

03

岩手大学合唱団は、2025年12月に開催される定期演奏会に向けて、日々練習に励んでいます。団員数は20名と多くはありませんが、学年や学部、パートを問わず合唱を楽しんでいます。

2025年1月に開催された「第34回岩手県小アンサンブルコンテスト」では、銀賞を受賞しました。上位大会進出とはなりませんでしたが、団員一人ひとりが音楽へ真摯に向き合い、



入学式学生歌演奏の様子

成長につながる貴重な経験となりました。

また、定期演奏会以外にも、大学祭や小・中学校への訪問演奏、地域の合唱祭への参加など、幅広い活動を行っています。

す。「合唱の楽しさを伝える」ことを大切にし、今年度は盛岡市内の中学校と福祉施設へ訪問演奏に伺いました。観客の皆様が手拍子をして楽しんでくださ



合唱団の集合写真

る姿や、涙を流して聴いてくださる姿に触れ、音楽を通して心が通い合う瞬間の尊さを実感しました。訪問演奏の最後には全体合唱の時間を設け、会場の皆様と一緒に歌う喜びを分かち合うことができました。

岩手大学合唱団は、2025年12月21日（日）、姫神ホールにて第71回定期演奏会を開催します。ぜひ、私たちのエネルギーギッシュでパワフルな歌声と、仲間と歌う喜びに満ちた演奏をお聴きください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。引き続き、卒業生の皆様からの温かいご声援をよろしくお願い申し上げます。



たくさんの想いをその先の未来へ

岩手大学 80 周年記念事業 進捗報告



04

岩手大学は2029年に創立80周年を迎えます。これを記念し、2024年7月から2030年3月まで記念事業を展開しています。本事業は、これまで大学を支えた多くの方々への感謝と、未来への決意を共有することを目的に、「記念プロジェクト・募金」「記念サイト」「記念イベント」の3本柱で進めています。

2024年7月には記念サイトを公開し、卒業生インタビューなどを通じて大学の魅力を発信しています。上田キャンパスの中央食堂前には記念フラッグが設置され、お祝いムードが広がりました。寄附者には、特産品やオリジナルグッズ、

さらに重要文化財「旧盛岡農林学校本館」（現在の農業教育資料館）でのロケーションフォト撮影といった特典が用意されています。また、寄附者を招いた「感謝の集い」や、毎年恒例の「ホームカミングデイ」を開催し、大学と卒業生・修了生との交流を深めています。

2025年9月末時点での寄附総額は38,827,500円で、目標額6億2,200万円に対し達成率は6.2%です。本事業のスローガンは「たくさんの想いをその先の未来へ」。卒業生・修了生の皆様とともに岩手大学の未来を築く取り組みに、ぜひご支援をお願いいたします。



中央食堂前に設置したフラッグ



本部棟内にもタペストリー等を飾っています

基金室からのお知らせ

「基金レポート2025」発行

2023年度に岩手大学イーハトーヴ基金へいただいた寄附実績や寄附を活用し実施した活動などについて広くお知らせするために「岩手大学基金レポート2025」を発行しました。レポートは二次元コードからご覧いただけます。また、ご希望の方には冊子を送付いたしますので、岩手大学基金室までご連絡ください。



岩手大学イーハトーヴ
基金レポート2025



メール登録をご利用ください

岩手大学基金室では、本学の取組やイベント等に関する情報発信を行っています。情報を希望する方は専用フォームよりお申し込みください。

登録フォーム



岩手大学では、書面またはインターネットにてご寄附を受け付けています。詳細は岩手大学基金室のホームページおよび創立80周年記念サイト「ご寄附のお願い」をご覧ください。本学へのご寄附に関するご相談やお問い合わせは岩手大学基金室までお気軽にご連絡ください。

岩手大学
イーハトーヴ基金HP



創立80周年記念サイト
「ご寄附のお願い」

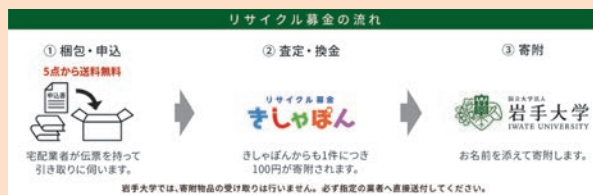


岩手大学基金室

〒020-8550
岩手県盛岡市上田三丁目18-8
TEL 019-621-6091
FAX 019-621-6014
MAIL kikin@iwate-u.ac.jp

岩手大学リサイクル募金

使わなくなった思い出の品で岩手大学を支援できるようになりました！ ご寄附は岩手大学の教育研究支援及び学生支援のために役立てられます。



募金できるもの・できないもの

取扱品目

本	DVD・CD	ゲーム	切手・ハガキ 製品等	貴金属	ブランド品	時計	カメラ
本は書物に限りあり				貴金属・ブランド品は壊れていても構いません			

「これ寄附できる？」が聞ける
きしゃぼん相談チャット

掲載のない品物でもお取扱い可能です。ご相談ください。（2024.10更新）

はこちら▶

お申し込み・お問い合わせ

岩手大学リサイクル募金



TEL 0120-29-7000（平日9時～18時）

運営協力：リサイクル募金きしゃぼん（嵯峨野株式会社）

岩手大学統合報告書2025発行

ステークホルダーの皆様へ「現在進行形の岩手大学」を伝え、本学について広くご理解いただくために「岩手大学統合報告書2025」を発行しました。本報告書では「対話」をテーマに編集し、本学の教育・研究・社会貢献の取り組みや成果、財務情報、今後のビジョン等をまとめています。また今回の報告書では本学教育学部附属特別支援学校の生徒が描いた絵が表紙を飾っています。以下の二次元コードからは是非ご覧ください。



岩手大学統合報告書
2025 (PDF)



岩手大学の最新ニュース、イベント情報、日々の出来事、ガンダイニング等の動画は以下よりご覧いただけます。



岩手大学
HP



岩手大学
公式YouTubeチャンネル



岩手大学
公式X



岩手大学
公式Instagram



岩手大学同窓会連合会報 No.17
2025.12 発行

発行事務局

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8
TEL 019-621-6091 FAX 019-621-6014
MAIL dosokai@iwate-u.ac.jp
https://alumni.iwate-u.ac.jp/

